

中国の記事から（畜産）

2006年10月20日号

目次

◎とうもろこし輸出が大幅に減少、国内値上りで

【国際商報 2006年10月17日】

◎百勝集団、中部地区のサプライヤーから原材料購買

【経済日報 2006年10月19日】

◎とうもろこし輸出が大幅に減少、国内値上りで

【国際商報 2006年10月17日】

海関総署(税関に相当)は、1～9月の全国とうもろこし輸出量は前年同期より68%減の229万トン、9月単月の輸出量は1万トンにとどまったことを明らかにした。加工業の成長などのために2006年に入ってとうもろこしは全国的に値上り。6月の価格は生産地区で1月より116元増の1220元(1トン、以下同じ)、消費地区で同166元増の1425元に達した。このため1～8月、中国の韓国向けの飼料用とうもろこし輸出は105万トン(前年同期は337万トン)、食用とうもろこしは46万トン(同80万トン)に減少している。

また、今年の全国とうもろこし作付面積は2690万ヘクタール(前年比54万ヘクタール増)、生産量は1億4100万トン(同163万トン増)に達する見込み。生産量の増加によってとうもろこし価格が下落するものと期待されている。このほか米国産とうもろこし値上りのために中国のとうもろこし輸出は今後増加するとも予測されている。

◎百勝集団、中部地区のサプライヤーから原材料購買

【経済日報 2006年10月19日】

中国でケンタッキー・フライド・チキン(KFC)を運営する中国百勝飲食集団(Yum! Restaurant China)は、先ごろ開かれた第1回中部投資貿易博覧会にて、湖北省、江西省、安徽省、山西省、河南省、湖南省などの原料サプライヤーと原材料購買契約を結んだ。

また、地方の不動産開発業者ともKFC、ピザハットの新店舗開設契約を取り交わしている。今

回の契約額は1億元を上回るものとみられる。国は中部地区発展戦略を実施、これにより中部地区の投資環境は改善され経済成長が続いている。百勝飲食集団はこれまでに10億元を投じて中部地区でKFC185店、ピザハット17店を開設。その従業員は1万3千人を超えている。同集団は今後3年間で中部地区の店舗展開規模を拡大していく計画である。

本情報は、株式会社日本能率協会総合研究所により
翻訳された中国の新聞記事をもとに、同社の許可を得て
独立行政法人農畜産業振興機構が整理したものです。